

追分宿郷土館開館40周年記念特別企画展

あさま

ねごし

さんしゆく

展望

浅間根腰三宿のビスタ

令和7年

7月26日(土) ~ 12月27日(土)

さらしのは右

みよしのは左にて

月と花とを

追分の宿

追分

馬掛

浅間

軽井沢町追分宿郷土館

Karuizawa Oiwakejuku Museum of Local History

長野県北佐久郡軽井沢町追分1155-8

TEL・FAX 0267-45-1466

<https://www.town.karuizawa.lg.jp/>

入館料：一般400円 小中高校生200円

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：水曜日(10月31日(金)までは無休)



軽井沢町追分宿郷土館

浅間根腰 三宿のビスタ(展望)

江戸時代、「浅間根腰の三宿」と呼ばれた軽井沢・沓掛・追分の3つの宿場町は、中山道や北國街道をはじめとする交通の要所に位置していました。

浮世絵や版本など当時の絵図からは、街道を行き交う旅人や荷物を運ぶ馬子の姿、参勤交代の様子が描かれ、宿場町の賑わいが感じられます。

また、軽井沢の伝統民謡・追分節からも、往来した人々や宿場町の姿をうかがい知ることができます。

追分からやがて全国へと伝播する「追分節」は、この地域では馬子唄調「追分馬子唄」、座敷唄調「信濃追分」がそれぞれ唄い継がれています。

追分宿郷土館が開館してから40年を迎える今年、旅や文化に注目し、江戸時代の軽井沢をテーマに企画展を開催します。

本展では追分宿を中心に三宿の本陣・脇本陣に関係する宿場史料や古文書、什器等民具のほか、浮世絵や版本などの出版物により、宿場町として栄えた軽井沢の歴史と文化について展示・紹介します。



『岐蘇路安見繪図』(1756年)より 追分宿

軽井沢町追分宿郷土館

Karuizawa Oiwakejuku Museum of Local History

【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで

【休館日】 水曜日(7月15日(火)～10月31日(金)は無休)
※水曜日が祝日の場合は開館

【入館料】 一般400円(300円)
小中高生 200円(150円)
※()は20人以上の団体
※堀辰雄文学記念館と共通

〒389-0115 長野県北佐久郡軽井沢町追分1155-8

TEL・FAX 0267-45-1466

<https://www.town.karuizawa.lg.jp/>



教養講座

教養講座1

- ・日時 8月9日(土) 13時30分～15時30分
- ・講師 ①山崎 一郎氏(南海トラフ地震防災官)

「長野県の地震について」

- ②窪田 邦晃氏(長野地方気象台 防災管理官)

「気象庁が発表する防災気象情報について」

- ③飯島 聖氏(気象庁浅間山火山防災連絡事務所長)

「浅間山の噴火と浅間山登山について」

- ・会場 追分公民館
- ・定員 50名
- ・参加費 無料

教養講座2

- ・日時 8月11日(月・祝) 13時30分～15時
- ・講師 深谷 大氏
- ・演題 大河ドラマ『べらぼう』こぼれ話

—江戸の出版文化と現代—

- ・会場 追分宿郷土館 2階 企画展示室
- ・定員 50名
- ・参加費 無料(別途入館料)



教養講座3

- ・日時 11月16日(日) 14時～16時
- ・講師 岩下 哲典氏(東洋大学史学科教授)
- ・演題 江戸時代、信州を通過した

蘭学者の長崎への旅、 親孝行者の金比羅さんへの旅

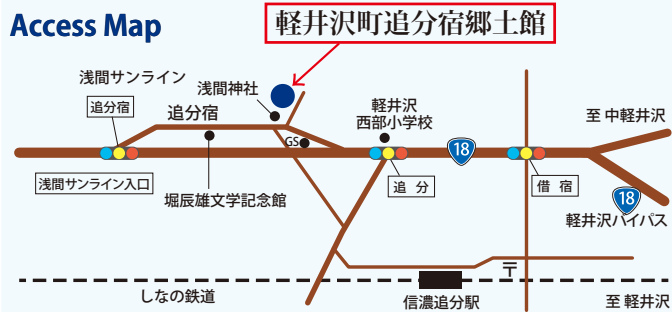
- ・会場 追分宿郷土館 2階 企画展示室
- ・定員 50名
- ・参加費 無料(別途入館料)



■教養講座HPはこちら

<https://www.town.karuizawa.lg.jp/page/9204.html>

Access Map



【交通案内】 電車: しなの鉄道軽井沢駅から信濃追分駅まで10分
車: しなの鉄道信濃追分駅から車で5分
徒歩: しなの鉄道信濃追分駅から徒歩30分